

平成29年度 第2回北海道紋別養護学校 学校評議員会の概要

10月24日（火）に今年度の第2回学校評議員会を紋別養護学校ひまわり学園分校で開催しました。その概要についてお知らせします。

1 授業参観及び評議①（授業について）

紋別養護学校ひまわり学園分校の高等部「作業学習」の授業について、「生徒一人一人の課題に応じた工夫」「見やすさ・聞きやすさ・わかりやすさを感じる授業づくり」の視点から参観していただき、以下のようなご意見をいただきました。

- ・教材の工夫や意思の表出手段への配慮など、生徒個々の実態に応じた丁寧な指導が行われていた。
- ・自立や進路との関連性が考えられており、手順の理解や製品の質などにこれまでの積み重ねの成果が現れていると感じた。
- ・例えば「丁寧に」について、何をどのくらい行うのが「丁寧」なのか、より具体的な目標を設定することが必要である。
- ・教師の意図するところと生徒が主体的に取り組もうとしている活動を一致させ、「本人が理解しているか」という視点を常にもちながら授業を進めていくことが大切である。
- ・失敗すること自体が苦手な生徒が多いため、様々な経験の場を提供するなどバランスが必要である。

2 ひまわり学園分校の教育活動について

- ・教育課程：学部間のつながりや関係機関との連携、自立や社会参加につながる確かな学力を身に付けることなどを柱に教育課程を編成している。
- ・小学部：様々な活動を通して生活経験を豊かにし、学ぶ楽しさを味わうとともに、体力、自発性、集中力、集団参加の基礎となる力などを養うことをねらいとしている。
- ・中学部：体験的な学習や社会性の学習、教科との関連付けなど、小学生段階からの発展や卒業後の進路への移行を担う重要な時期であることを意識しながら指導を行っている。
- ・高等部：卒業後や地域社会に出た際に必要となる力の育成をねらい、地域との共同学習やつながりを意識した学習活動を行っている。また、中学生段階からの発展的な授業の展開を意識している。

3 前回の評議内容に関わる各校の取組について

【紋別養護学校】

① 連携に関わる取組・実践

- ・個別懇談や学舎懇談会の充実
- ・地域との連携の推進（砂入りペットボトル作り、地域体験学習、交流及び共同学習）

② 専門性の向上に関わる取組

- ・授業改善の取組の充実（初任段階研修、校内授業研究）
- ・外部関係機関との連携・活用（スクールソーシャルワーカーの活用、自立活動教諭研修会の実施）

【紋別養護学校ひまわり学園分校】

① 連携に関わる取組・実践

- ・ひまわり学園及び関係機関との連携の推進
- ・地域と連携した授業（職場・施設体験学習、現場実習、校外学習、地域施設の清掃・環境美化活動）
- ・地域への学びの場の提供（コーディネーター研修会、地域の参観日、ぽっかぽか）

② 専門性の向上に関わる取組

- ・授業改善の取組の推進（校内授業研究、初任段階研修研究授業）
- ・研修会、学習会への積極的な参加の呼びかけ
- ・外部専門家（自立活動教諭）による校内支援の活用

4 評議②（連携・専門性の向上について）

- 学校で身に付けた内容を、卒業後に生かしていけるような取組を引き続き期待したい。
- これからも地域との交流や連携を深めていくとともに、地域との関わりを教育活動にどのように位置付けていくかという視点をもって教育活動を推進していくことが大切である。
- 子供達は事前・事後の活動も含めた様々な経験によって学びが充実していく。また、子供達も教師も日常と違う状況や人から見られるという緊張感によっても成長していく。そのような機会をこれからも設定し、お互いに成長しあっていくことが重要である。

【評議の様子】



第3回学校評議員会は、学校評価を踏まえた評議を紋別養護学校で2月（予定）に開催します。